

研究通信第2号を担当するのは、小田です。よろしくお願いします。最近、蒸し暑い日が続いていますが、みなさん体調はいかがですか。私は、1年の中で梅雨の時期が一番嫌いです。あの時期がもうじきやってくると思うと億劫ですが、耐えるしかありません…。梅雨が嫌いだという方は多いと思います。共に乗り越えていきましょう!!!



さて、突然ですが先生方に問題です！「一つの前提と二つの視点」とはなんのでしょうか。答えは下の記事の中にありますっ！

第一回 話題提供授業から感じたこと

16日(木)、3年1組において、算数科「一万を超える数」の話題提供授業をしていただきました。この授業から私が感じたことを3つ紹介したいと思います。

まず一つ目は、「**先生自身が楽しそうにしている!**」ということです。先生が笑顔で授業をされていたので、子供たちも自然と笑顔になっていました。さらに、先生がおどけて見せることで、子供は生き生きとつっこみを入れていました。まさに、本校の教育目標や研究主題にある「学びを楽しむ」姿があったのではないかと思います。

二つ目は、「**子供の思考を予想するのは難しい!**」ということです。本校の授業づくりの際の土台となる「一つの前提と二つの視点」。ここで、冒頭のクイズの答えを発表します。【一つの前提→授業の終末につぶやかせたい具体的な言葉の設定】【二つの視点→①子供の問いを生み、子供が主体的に学ぼうとする質の高いめあての設定、②子供の思考をゆさぶり、深い学び・確かな学びへと導く焦点をしぼった発問や活動】これは、単元構想や授業構想の段階で、子供たちの思考を予想することが必要になりますよね。しかし、実際に授業を行ってみると、予想と異なる反応が返ってくることも多々あります。そんなときに、どのように言葉を返して授業を流していくのか、つまり授業をコーディネートしていくのか、そこがいつも難しなあと感じます。

そして最後は、「**子供たちがかわいい!!**」ということです。3年1組の子供たちの、子供らしいリアクション、豊かな発想から生まれる発言にとても癒されました^^

新年度が始まって1ヶ月半という状況の中、話題提供授業を実施してくださった荒嶽先生、本当にありがとうございました!

